

## 防災・安全・衛生への取り組み

蘇州日本人学校では、児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、以下のような防災・防犯対策を行っています。

大切な子どもたちを守るために、もしもの際に備えた対策を施し、日々の安全を守るために万全を期しています。

### 防災対策

#### ～避難訓練～

災害や火災、緊急事態から児童生徒の生命を守るため、本校では年 6 回の避難訓練を行っています。（不審者侵入・非常事態・火災2回・地震・風水害）

「自分の命は自分で守る」という子どもたちの意識を高める指導を目指しています。

年 6 回行われる訓練のうち 2 回は、学校周辺の日系企業にご協力いただき、近隣企業救援隊・近隣企業警備隊を結成し、有事の際の救援活動を訓練しています。



## 校内安全対策

### ～学校警備隊による 24 時間体制の安全管理～

本校には学校警備隊が警備室に常駐し、監視カメラ、赤外線感知システムによる警備と校内巡視を 24 時間体制で行っています。また蘇州市新区管理委員会の協力により、公安（警察）が学校周辺のパトロールを行っています。子どもたちが安心してのびのびと学校生活を送ることができるよう、絶えず見守っています。



白バイ警官の見守り  
(登下校時の安全確保)



## 児童生徒の登下校対策

本校では、児童生徒が安全で安心できる登下校の実現をめざし、「通学のしおり」を定め、運用しています。本校の登下校は個人通学のほかに、校車通学があります。これまでは、保護者やマンションの運営による通学バスの利用でしたが、今年度9月より校車の運行が始まりました。この運行については、児童生徒の安全な登下校を確立するために、学校と保護者の代表者による通学安全委員会を設置し、登下校時の緊急対応や、安全運行のための情報を共有し、校車運行についての整備や対応策などの協議を行っています。

### ～登下校の安全確保～

本校の登下校は、保護者の同伴が原則です。校車を利用する場合は、各バス停で乗車児童生徒の名簿をチェックし、乗車するきまりになっています。バスの停車位置の指示や、児童生徒のバスの乗降の際は、本校教職員と警備員を配置し、校内での事故防止に努めています。

## ～ヘルプカードの配付～

ヘルプカードは登下校中の事故や緊急事態などで、同伴の保護者が負傷するなど、連絡を取ることができなくなった場合に、周囲の大人の方に見せ、本校に連絡をしてもらうためのカードです。児童生徒全員に配布し、通学時に使用するランドセルやカバンに常に入れて持たせています。



## 大気汚染における本校の対策

近年、中国では大気汚染が社会問題となっています。蘇州日本人学校では、AQIの濃度指数を1時間ごとに確認または測定し、児童生徒の活動のめやすとしています。

### (1) 空気清浄機の設置

普通教室、特別教室をはじめとする校内に日本メーカー製の空気清浄機を設置し、汚染物質の除去に努めています。教室や廊下の広さに応じて台数を算出し、設置しています。



- ①小1～中3各教室および特別教室に1台ずつ設置。
- ②保健室、音楽室、図書室には2台ずつ設置。
- ③体育館に大型空気清浄機を6台設置。
- ④多目的室に大型空気清浄機を1台設置。
- ⑤1階から3階までの廊下に空気清浄機を28台設置。合わせて84台の空気清浄機を設置しています。

フィルター清掃を1週間に一回行い、常に清潔な状態に保つようになっています。このため、室内環境は日本とほぼ変わらない好環境を保っています。

### (2) 保護者との連携

呼吸器系の持病を持つ児童生徒は必ず保護者から学校に連絡をいただき対応します。また長時間の屋外活動ではマスク着用を励行するなど、家庭との連絡を密にとり、安心して過ごせる環境整備に努めています。

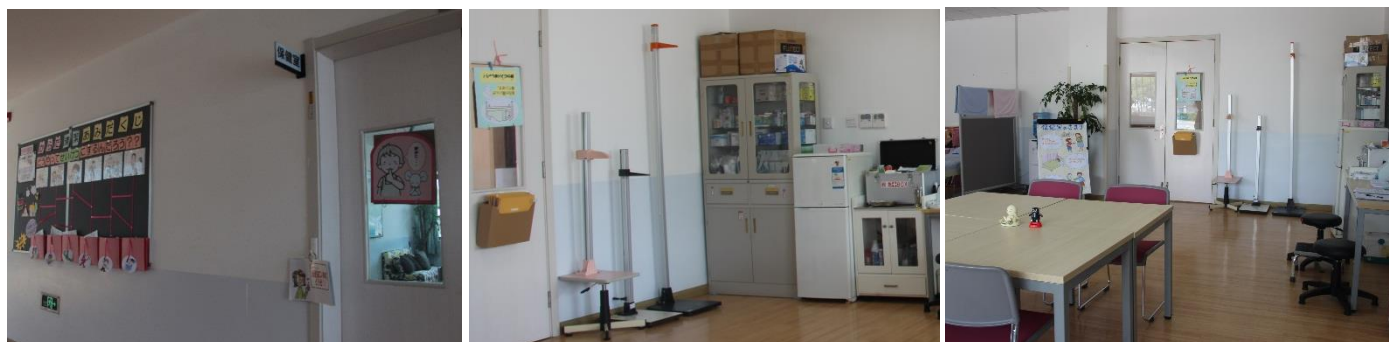
### (3) 空気粉塵測定器による提示測定

蘇州市環境衛生局発表の数値把握だけでなく、本校保有の空気粉塵測定器による定時・定点測定を行い、より正確な数値把握に努めています。

## 健康・衛生対策

### ～保健室～

子どもたちがケガをした時や、体調が悪くなった時、養護教諭と養護補助員が対応します。子どもたちの心と体の健康を守る親身な対応を心がけています。



### ～飲水器（うがい用）の設置～

感染症予防のため、うがい用飲水器を校内に12台設置し、風邪やインフルエンザが流行する時期には、積極的にうがいをするように指導しています。

養護教諭と担任が連携し、感染症予防のための意識向上を図っています。

